



PTA会報

蒼天の翼

第34号

PTA 調査広報委員会

2013. 7. 4

題字 3年普通科 千葉明美



響け青春！ 魅せる千高魂



喜びの多い一年に

PTA会長 千葉 弘之

山々の緑も一段と色濃くなり、町では七夕飾りが軒先に揺れる季節になりました。

会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。去る、五月十五日のPTA総会において新役員の体制も決定して、今年度の活動もスタートしたところです。この一年どうぞよろしくお願いいたします。

さて、高校生活の三年間は生徒のみならず親の方も「光陰矢の如し」であるとは、昨年卒業生を送り出した親として感じる率直な感想です。あくまで体感的なことであるとは十分理解しておりますが、このように感じざるを得ないのは、大人に近づき手がからなくなると同時に進路に対して真剣に向き合う時期であるからだと思います。一年生で進路を決めるか、二年生の時期になるか、いずれにしても早いほど優位に進めることができ、卒業間近に慌てることはありません。中山間といわれるこの地域は、他校に比較して就職、進学とも決して条件が良いとは言えないのですが、優秀な人材を送り出していると県内外から注目を集めております。

今年度の入学生徒数が定員より少なかったことにつきまして、いろいろと議論されておりますが、根本には近年の少子化の影響が色濃く出たものと解釈しております。我々の地域で大切にすべき本校は、一流の指導者が地域の実情に合わせて一人ひとりを大切にしながら指導を行っており、温かみのあるものです。それは決して他校には見ることができない、すぐにはまねることができない大きな特色であると感じております。

我々PTAの活動が、生徒諸君の活躍に結びつくことと、この短い三年間の中で互いの喜びをより多く持つことができよう、皆さんのご協力をお願いしましてご挨拶にさせていただきますと思います。

魅力ある

学校づくりに 向けて



校長
入駒 智

保護者の皆様には本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

今年度は百八十名の新入生を迎え、全校生徒六百九名で新学期をスタートしました。本校は昨今の少子化の影響もあり、ここ三年、連続して生徒数が減少しております。

このような状況下で、年度初めの始業式、入学式、対面式、応援歌練習を無事に終え、五月にはPTA総会、高総体があり、さらには復興支援協力活動の一環として陸前高田市に赴き、ボランティア活動を行いました。六月に入り、定期考査、クラスマッチといった諸行事をお陰様で順調に消化したところであります。

また、本校は今年度「自転車・二輪車安全利用のモデル校」の指定を千厩警察署から受けており、生徒達の命を守るために、交通安全のルールとマナーを遵守し、無事故・無違反を目指して取り組んでいくこととしております。

部活動では、ソフトボール部が四月に行われた岩手県高校選抜大会において十四年ぶり五度目の優勝を果たしました。高総体

では準決勝で花巻東高校に惜敗しましたが、今後に期待を抱かせるチームとなり、生徒達も教職員も頑張っております。

最初にも述べましたが、本校への入学者が減少を続けている現在、本校に求められていることは魅力ある学校づくりであると考えております。

そのためには、生徒にとって分かる授業を実践すること、問題行動等の発生を未然に防ぐため、生徒一人ひとりへきめ細かく対応するなど生徒指導を一層充実させること、最近、低迷気味の部活動を活性化させ、結果に繋げていくこと、そして、生徒の進路目標をいかにして達成させるかということに真摯に向き合っていくことだと考えます。

すなわち、知・徳・体のバランスのとれた教育活動の質を高めることが必要であると考え、その達成に向けて教職員一同ベクトルをひとつにして取り組んでいきます。

過日、千厩高校同窓会東京支会総会並びに関東地区新卒者激励会に出席してきました。激励会では新卒者二十四名へ本校職員からの激励があり、参加者からは近況報告が行われました。その後、同窓会との交流会が行われ、有意義なひとときを過ごすことができました。総勢約六十名の参加者でしたが、同窓生の方々から異口同音に発せられたことは千厩高校への熱い思いと、将来にわたって卒業生が様々な分野で活躍することを期待するものでした。

今後も生徒にとって「千厩高校に入学して良かった」と思えるような学校づくりを誠心誠意目指していきますので、保護者の皆さま方のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

PTA総会

五月十五日(水)、千厩町のマリアーヂュを会場として、平成二十五年度PTA・教育振興会総会が開催されました。出席された保護者は一学年二十名、二学年二十一名、三学年二十八名の計六十九名でした。また、昨年度に続きケーキバイキングの時間も設け、和やかなひとときを過ごしました。

十五時四十分より始まった総会では、会長挨拶、学校長挨拶に続き、議長として二年生の保護者宍戸和広さんを選出し、議事に入り、

第一号議案 平成二十四年度会務報告
第二号議案 平成二十四年度諸会計の決算

第三号議案 平成二十五年度役員選出
第四号議案 平成二十五年度事業計画
第五号議案 平成二十五年度諸会計予算



のすべての議案が提案通り承認されました。特徴的なものとしては、昨年に引き続き、「震災支援事業費」として三十万円を予算化し、被災した生徒が在籍する高校と本校の生徒間交流に役立てることとしました。また、PTAによる近隣高校との合同あいさつ運動、千仰祭でのPTAによるイベント参加等も確認されました。さらに、保護者にお願している「ケータイ連絡網サービス」のいつそうの活用促進が連絡事項としてありました。

総会に先立ち、十四時から武田進路指導課長より、「本校の進路指導状況報告」として、昨年の就職・進学状況の実態、進路に関する情報と課題等が報告されました。

総会終了後、会場を移して学年懇談会、担任との個別面談が行われました。

県高P連定期総会

六月七日(金)、サンセール盛岡で県高P連定期総会並びに研究協議会が開催され、吉田仁一副会長、入駒智校長、千葉事務局長が出席しました。

総会では、

- 第一号議案 平成二十四年度会務報告
- 第二号議案 平成二十四年度収支決算
- 第三号議案 会則一部改正について
- 第四号議案 平成二十五年度役員選出
- 第五号議案 平成二十五年度活動方針並びに事業計画
- 第六号議案 平成二十五年度収支予算
- 第七号議案 平成二十七年全国高P連岩手大会開催に向けての取り組み

のすべての議案が提案通り承認されました。今回の役員改選により、新会長の

として盛岡一高のPTA会長である内館江茂さんが選出されました。また、本校の吉田仁一副会長は県理事(調査広報委員会副委員長)となりました。

なお、全国高P連の健全育成委員会の取り組みとして「薬物乱用防止の横断幕」が各県に配布され、各高校での活用促進の連絡がありました。

研究協議では、川上圭一高校教育課長「新学習指導要領について」、鈴木智香復興教育担当「いわての復興教育の推進について」と行政説明がありました。

最後に「新渡戸稲造・その仕事と思想」と題し、吉丸蓉子さん(元盛岡市先人記念館館長)の講演がありました。

平成25年度PTA役員

顧問	菅原 武雄	嶋山 朋郎
副会長	北田 文人	小野寺敏男
監事	皆川孝太郎	高橋義太郎
地区理事	千葉 恭平	小野寺 勝
千厩	千葉 弘之	菅原良一郎
千厩	菅原 栄子	吉田 仁一
千厩	藤野 浩人	入駒 智
千厩	佐川 勝弘	芳賀 義明
川崎・弥根	千葉 鐘子	村上美智子
室根	高橋 雅行	松尾 純一
山形	高橋 康司	加藤 幸弘
山形	山形 賢一	佐藤 幸弘
山形	山形 雅彦	佐藤 幸弘
山形	山形 千恵	石田 幸喜
山形	山形 千恵	石田 幸喜

東山	細川 義祐	菅原 薫
大東	佐藤 徳幸	藤野 一哉
一学年理事	小野寺二男	藤野 一哉
母親委員	須東 理恵	藤野 一哉
母親委員	佐藤 邦夫	加藤 純一
母親委員	菅原 勉	齋藤 純一
母親委員	佐藤 次男	齋藤 純一
母親委員	伊藤 求	石川 正喜
母親委員	千田かおり	遠藤 香苗
母親委員	千田 雅弘	千葉 誠徳
母親委員	阿部 輝彦	小山喜美彦
母親委員	阿部 洋康	小山喜美彦
母親委員	菅原 俊一	須藤 雅行
母親委員	菅原 俊一	須藤 雅行
母親委員	柴田 栄子	小山 洋美
母親委員	小野寺芳明	佐藤 喜光
母親委員	小野寺あけみ	佐藤 喜光
母親委員	小野寺信一	金野 正仁
母親委員	小野寺信一	金野 正仁

田植大会に参加して

PTA副会長 吉田 仁一

五月二十四日、PTA会長と私が初めて千厩高校の田植大会に参加させていただきました。私自身が田んぼに裸足で入るのは何十年ぶり、泥の感触が懐かしく思いました。

田植大会は一チーム三人のリレー方式、田んぼにひかれた線の上に三本の苗を植付けて行くルールでしたが、なかなか思うようになり、五〜八本になったり、五〜八本になったりとなっていました。



みると結構難しいものでした。又、中腰の状態が続くとかなりきついものがあり、腰を伸ばしながらの植え付けは大変でしたが、PTA会長

と進先生の頑張りで三位という結果に満足しております。他のチームも一生懸命で、泥まみれになった生徒もいましたが、楽しい時間を過ごさせていただきました。ちなみに参加賞は学校で栽培された鉢植えのカーネーションでした。



今回私たちが田植大会に参加したのは、今年度の健全育成委員会の取り組みの一つとして、千厩祭での『父ちゃんたちの餅つき大会』を計画しております。千厩高校で収穫されたもち米を使用し、父ちゃんたちが餅をつき、来場者のみなさんに振る舞うという企画です。又、健全育成委員会では、校門前・駅等でのあいさつ運動や近隣高校との合同あいさつ運動、PTA講演会など様々な企画しておりますので、会員の皆さんも是非参加していただければと思います。

ケータイ連絡網サービスの登録



情報管理課

登録方法

- ①携帯電話のカメラ機能を使いQRコードを読み取り、空メールを送信。
- ②登録完了のメールを受信で、登録完了。



本校では、希望する保護者の皆様に、パソコンや携帯電話のメールを使った情報配信を行っています。内容は、学校やPTAの行事予定、事故や災害等による緊急連絡などです。単年度登録になりませんので、今年度まだ登録されていない方は登録をお願いします。

復興支援協力活動報告

五月三十一日(金)に、二・三年生有志七十四名が、陸前高田市で復興支援ボランティア活動を行いました。昨年度に引き続き、三回目の派遣です。

昨年は県の補助費で実施しましたが、今年度は本校生徒会費からバス代等を支出しました。当日、暑く感じられるほどの快晴の中、生徒たちは高田駅前の側溝の泥出しを行いました。八月二十一日(水)〜二十三日(金)には一年生全員がボランティア活動に参加する予定です。

微力ながら今後もボランティア活動を継続していきたいと考えております。

ボランティア活動に参加して

三年 鈴木 千裕



五月三十一日(金)に陸前高田市の高田駅前でボランティア活動を行いました。



泥をスコップで持ち上げ、持ち上げた泥に含まれていたガラス破片や津波で流された日常製品を分別する作業を行いました。私は主にがれきと泥の分別を行いました。分別をするとガラス破片や蜂蜜の瓶などが泥から出てきて普段では見ることができない津波の恐ろしさ

や復興支援の必要性を感じました。午前から午後三時までボランティアを行いました。当初私は八十人いるから十分整備が進むだろうと思っていました。しかし終わりの時間になると作業が終わったのは一部分のみだったので復興の大変さを感じました。ただ昨年のゴールデンウィークに陸前高田を訪れた際と比べ、がれきの山が減っているという変化に気づくことができたので、復興は着実に進んでいるという実感が持て嬉しかったです。またボランティアの機会があれば積極的に参加したいし、自分から行動を起こし復興させたいです。

継続した取り組みを

三年 石川 彩香



私は少しでも被災地を手助けしたいと強く思い復興支援活動に参加しました。最初は、ボランティアサポートセンターの職員の方に丁寧に活動内容の説明をしていただきました。そしてボランティア活動に出かける際に「いつてらっしゃい」と職員全員が手を振りながら笑顔で送ってくれました。バスで高田駅に移動し安全な服装でボランティア活動を行いました。私は、深い側溝に入りスコップで泥を掘り上げました。すると、ガラス・コンクリート・調理器具・人形・ゲーム機が出て私はそれらを見てど

は主にながれきと泥の分別を行いました。分別をするとガラス破片や蜂蜜の瓶などが泥から出てきて普段では見ることができない津波の恐ろしさ



んなに多くの人が毎日辛い思いをしているか、また悲しい思いをしているか作業をしていて心にすぐく染み入りました。多くの人が少しでも笑顔になつてもらえるようにとジャージが汚れながらも一生懸命

関東地区新卒者激励会ならびに千厩高校同窓会関東支会懇親会報告

進路指導課 武田 宏行

六月十六日(日)、上野精養軒において、関東地区新卒者激励会ならびに千厩高校同窓会関東支会懇親会が行われました。

午前中は、高校の企画による激励会です。来賓として関東支会長の村上和男様をお迎えして、ご挨拶も頂戴いたしました。今年度は関東に進学・就職した卒業生が少なく、参加者数が心配されましたが、二十四名の卒業生が参加してくれたため、大変充実した会となりました。東京での生活にもだんだん慣れ、仕事に苦労しながらも、さすがしく近況を報告してくれた卒業生の皆さんがたのもしく見えました。

午後は、同窓会関東支会懇親会に二十一名の新卒者とともに参加させて頂きました。同窓会長菅原温士様をはじめ二十九名の大先輩の方々と、おいしい料理を食べたり、懐かしい歌を歌ったりしながら楽しい時間を過ごすことができました。最後に新卒者を代表して、菅原沙希さんがお礼の言葉を述べました。二ヶ月以上経ちました

命頑張りました。この高田の復興支援協力活動で多くの人たちを助けられたら嬉しいです。今後もぜひ千厩高校でこのような取り組みを続けて多くの人に喜んでいただきたいと思います。

が、覚えることもいっぱいあって大変だったり、お客様への対応がうまくいかななくて悩んだりしますが、たくさん応援してくれている方がいることを支えにして、一つ一つ頑張っていきたいと思えます。新卒者の皆さんはたくさんの方々から頂いた激励を胸に、これからさらに活躍してくれるだろうと確信しています。



同窓生の前で校歌を歌う新卒者

会員から

時は得難く失いやすい

一学年理事 菅原 勉(千厩)
 義務教育の九年間があつたという間に終わり、娘も高校生になつてしまつた。中学校までは子供と一緒に成るまで成長を楽しんでいたが、高校生ともなると、進路のことで親の不安も膨らんでくる。本人は、至つてのんびりしているのだが。

さて、娘の高校生活は、どんな具合だろうと窺うが、この年頃は親の質問に明確な回答が来ないので、推察力が必要だ。



音楽部のボランティア演奏

唯一堂々と参加出来る高総体が到来。仕事を休み、一回戦の会場への会場へ向かった。良き先輩方とプレーをさせて頂き感謝。躍動する選手たちの活躍で見事勝利。翌日の二回戦は仕事だったので、夕方惜敗の報告を受けました。残念！試合会場では、勝つたチームは歓喜に湧き、敗れたチームは涙が止まらな

い。高校生活は始まつたばかりだが、三年間はあつという間に過ぎてゆく。一瞬一瞬を大事に過ごし、心身共に成長して欲しいものだ。

明日に向かって

高橋 康司(千厩)

月日の経つのは早いもので、入学式から二ヶ月が過ぎ、一年生は学校生活にも慣れて学習やクラブ活動に一生懸命取り組んでいるようです。授業についてゆけるか不安を持つつも、夜遅くまで部活動。先輩方についてゆこうとしている一年生の姿は、入けなげで「頑張れ」と応援したくなります。

精神的にも体力的にも大変だと思えますが、この努力の積み重ねによつて、一年後、二年後にはきっと一回りも二回りも大きく成長できるものと思えます。千厩高校のPTA会員として、生徒たちの成長を見守りたいと思います。



産業技術科のコンピュータ実習

新緑の山仰台

農場長 菅原 正幸

農場のある山仰台の緑が色濃くなる季節になりました。四月には生産技術科に三十九名の新入生が入学しました。二年生四十名、三年生三十八名の合計百十七名の生徒がこの農場で明るく元気に学習しています。

農場の春は野菜苗や花壇苗の販売実習から始まります。今年も大勢の地域の方が、苗を購入しに農場を訪れて下さいました。生徒は、自分たちが一生懸命育てた苗を販売することで地域の方とふれあい、交流することで大きく成長していきます。それはまた、自分たちが地域から支えられていることを



草花実習



田植え風景

最後にありますが、生産技術科では「農」と「家庭」の教育力を最大限に生かし、将来地域で活躍できる人材を育てることを目標に掲げ日々の教育活動を行つております。その礎となるのが農場での学習です。そして、生徒が目を輝かせ、生き生きと学習する山仰台、地域と共に発展する農場であつてほしいと願つていま

実感できる瞬間でもあります。農場へ足を運んでくださった地域の方や保護者の方々に感謝申し上げます。そして、水田では毎年恒例の新入生による田植え実習が行われました。実習服すら揃わない入学後間もなく育苗育てた苗を手で植えていきます。あちこちから歓声が上がります。泥だらけになりながらも真剣な表情で一生懸命田植えをしていました。また、今年で五回目を迎えた校内田植大会には、PTAチームの参加をいただきもち米を植えました。十月の千厩祭には色々な形で振る舞われるようです。生徒も楽しみにしています。

生徒の活躍

みんなで一つの作品



写真部 二年 佐藤 可奈子

私は、昨年の平成二十四年度第三十五回岩手県高等学校総合文化祭写真部、第三十一回岩手県高等学校写真展において、最優秀賞をいただきました。これを受けて、今年の七月末に長崎で開催される、第三十七回全国高等学校総合文化祭に出品することが決まりました。

今まで最優秀賞について聞かれる度、いつも言っていますが、この作品は一人の力で作ったわけではありません。暑期中、何度も撮影に付き合っていたいただいた先輩たちには、とても感謝しています。そして、全国高総文祭へ自分だけ参加するのではなく、この作品の代表として参加するという気持ちで参加したいと思います。



佐藤可奈子さん作品『笑顔のプレゼント』

暖かくなるにつれて全国高総文祭が近づいてきました。感謝の気持ちを忘れずに、全国高総文祭に挑みたいと思います。

作品作りを通して学んだこと



写真部 二年 千葉 翠

私は昨年の十一月に岩手県高等学校文化連盟写真部門主催の平成二十四年度スライドフォトコンテストで特賞を受賞しました。

クラスの友人たちにモデルをお願いして、昼休みに農場で撮影しました。友人たちの笑顔がとても生き生きとした輝きを持ち、私は、このような素晴らしい作品をつくり上げることができたのは、友人たちと農場を貸してくださった先生方の協力があったからこそだと深く感謝の思いでいっぱいです。初めてリバーサルフィルムを使用して写真を撮影したのでわからないことがたくさんありました。



千葉さん作品『新葉に囲まれて』

自分だけで作品をつくりあげるのではなく、周りの方々が快く協力をしてくださっているからだと改めて思います。それを忘れずに、第三十七回全国高等学校総合文化祭長崎大会写真部門へ千厩高校の代表、そして岩手県代表としての責任を持って臨みたいです。

支え



ソフトボール部 三年 小野寺 祐希

決して平坦な道ではなかった、この三年間。たくさんの感謝の気持ちと、どのチームよりも練習してきたという自信を胸に三日間戦い続けた。結果は三位でしたが、最後の試合を終えた時、心から「続けてきて良かった」と思いました。そう思えたのは、麻起子先生、関根先生、高橋先生、麻耶さん、家族、友達、ソフトボールを通して関わった方々、そして大好きな「仲間」のおかげです。駒場のグラウンドで共に汗を流し、励まし合い、たくさん笑いました。厳しい練習や、泣くくらい悔しかった時も、どんな時でも仲間がいたから乗り越えることが出来ました。大好きな仲間と大好きなソフトボールをすることが出来て本当に幸せでした。頼りないキャプテンでしたが、支えてくれてありがとうございます。



高総体県大会 第3位

最後になりましたが、これからも千高ソフトボール部と、後輩たちの応援をよろしくお願います。今まで本当にありがとうございました。

平常心



弓道部 三年 熊谷 天絵

私は、高総体県大会女子個人の部において五位という成績を取ることができました。

普段の練習は、駒場までの移動時間や弓道部の人数の多さを考慮すると、沢山打つという事は出来ないのです、一射一射集中し、短時間でも中身の濃い練習となるように心がけてきました。しかし地区予選になっても一向に調子はよくなりません。先生やコーチにアドバイスをもらったり、教本を読んだりして自分なりに研究した中で気づいたことがあります。それは、弓をきちんと押すことです。県大会一週間前にそれに気づき、ひたすら押すことを意識することで当たるようになりました。大会当日は団体のことだけを考え、押し続けました。結果は、八射七中し、予選通過、強豪選手の中に残り、緊張しましたが、射る最中も押しのことだけを考え、二十射十五中という成績を取ることが出来ました。今後の抱負は、「平常心でいること」です。六月下旬に東北大会が秋田県で行われます。初めての道場で、周りとは避けられないでしょう。しかし、どんな状況でも、普段通りの自分の射をしていくつもりです。焦らずに平常心で頑張ろうと思います。

ベスト8になって



男子バレーボール部
三年 菅原 智也

私たち男子バレー部は岩手県高校総合体育大会に出場し、四年ぶりにベスト8という成績を残しました。また私が優秀選手賞をいただくことができました。

大会一ヶ月前から急激にチーム力が上がり、自信を持って挑みました。二回戦、三回戦を勝ち抜き8強に駒を進め、4強をかけた試合。相手にサーブで崩され自分たちのバレーを展開することが出来ないまま敗退し、残念なものとなりました。

毎年顧問の先生方が替わり戸惑いもありましたが、どの先生方も自主性を尊重してくださり、「やらされるバレー」ではなく「自分たちで考えてやるバレー」が出来ました。その結果チーム力アップに繋がり、ベスト8という成績を残せたのだと思います。

私たちがバレーと存分に向き合えたのも先生方、保護者の方々の支えがあったからです。本当に感謝しています。また、後輩たちにはさらに上を目指し活動して欲しいです。

千高バレー部の今後の活躍に期待しています。



高総体壮行式

各種大会結果報告

八運動部

●第65回岩手県高等学校総合体育大会

〔バスケットボール〕

男子 一回戦 千厩 65-49 金ヶ崎
二回戦 千厩 65-70 住田
女子 一回戦 千厩 65-63 久慈
二回戦 千厩 61-84 花巻南

〔弓道〕

男子 団体 40射19中
個人 千葉匠(3E) 8射6中
準決勝 4射1中(計12射7中)
決勝進出ならず
予選通過

〔バレーボール〕

女子 団体 40射22中
準々決勝 20射8中(計60射30中)
同中競射0中
準決勝進出ならず
9位相当
予選通過

〔卓球〕

男子 団体 一回戦 千厩 3-2 江南義塾
二回戦 千厩 0-3 宮古
シングルス 菊地恭兵(3A) 一回戦 1-3 熊谷直人(3F) 一回戦 2-3
女子 団体 一回戦 千厩 0-3 久慈東
二回戦 千厩 2-1 北上海南
個人 藤野永(3C) 菊池亮(3D) ベア
一回戦敗退

〔ソフトテニス〕

男子 団体 千厩 2-1 北上海南
個人 藤野永(3C) 菊池亮(3D) ベア
一回戦敗退

〔サッカー〕

一回戦 千厩 0-1 大槌

〔ワンダーフォーゲル〕
男子 団体 真岩手連峰登山 15校中12位
〔陸上競技〕
女子 4×100mリレー
女子 やり投 三浦聖美(2E)
男子 団体 千厩 5-0 雫石
個人 73kg級 岩田利器(3A)
90kg級 中津山信之(3C)
55kg級 村上翔太(3F)
全日本ジュニア県大会出場権獲得

〔柔道〕

男子 団体 千厩 5-0 雫石
個人 73kg級 岩田利器(3A)
90kg級 中津山信之(3C)
55kg級 村上翔太(3F)
全日本ジュニア県大会出場権獲得

〔バドミントン〕

男子 団体 千厩 3-1 久慈東
ダブルス 千葉修作(3F) 紺野信明(3E) ベア
シングルス 小岩大貴(2E)
女子 団体 千厩 1-3 一関
ダブルス 白井彩(3A) 勝部千尋(3D) ベア
シングルス 石川久愛(1D) 熊谷ほなみ(1C) ベア
0-2 花北青雲

〔ボクシング〕

個人 一部
ライトフライ級 佐藤 葵(3F) 一回戦敗退
バンタム級 佐川凌雅(3A) 一回戦敗退
ライト級 佐藤大和(3F) 一回戦敗退
ライトウェルター級 星 裕士(3F) 一回戦敗退
ミドル級 熊谷真彦(3E) 一回戦敗退
ウェルター級 佐藤恒一(2D) 一回戦敗退
個人 二部 大友奨吾(3D) 二回戦敗退
ウェルター級 小野寺康佑(2D) 準優勝

〔ソフトボール〕

一回戦 千厩 11-0 宮古
二回戦 千厩 9-0 久慈
準々決勝 千厩 6-3 専大北上
準決勝 千厩 0-1 花巻東
男子 予選リーグ 2戦2敗
女子 予選リーグ 2戦1敗
個人戦 男女ともに二回戦敗退

〔硬式野球部〕

●第60回春季東北地区高等学校野球岩手県大会
一回戦 千厩 2-3 一関学院
敗者復活二回戦 千厩 2-0 花泉
代表決定戦 千厩 5-8 修紅

〔ソフトボール〕
●第5回東北北海道公立大会
予選ブロック 千厩 2-3 弘前実業
二部トーナメント 千厩 2-0 涌谷
一回戦 千厩 4-3 いわき総合
二回戦 千厩 10-2 仙台二華
決勝 千厩 5-1 由利
優勝

〔吹奏楽〕

●第22回全日本中学生・高校生管打楽器ソロコンテスト
東北大会予選東北大会
千葉真音(2A)
尾形芳枝(2B)
菅原実咲(2B)
銀賞

〔文化〕

●第23回岩手県ジュニア選抜ソフトテニス選手権大会
兼ハイスクールジャパンカップ2013予選会
女子 個人 菊池麻衣(3E) 小野寺華(3B) ベア
二回戦 4-1 黒沢尻北 勝利
三回戦 4-2 盛岡誠桜 勝利
四回戦 1-4 北上翔南 敗退
ベスト16

〔書道〕

●第29回成田山全国読書大会結果
半紙 推薦日輪賞 千葉明美(3B)
半紙・条幅 特選日輪賞 千葉明美(3B)
半紙 特選月輪賞 皆川瑠乃(3D)
半紙 特選月輪賞 岸 栄奈(3B)
秀作金剛賞 書道部 コンクール
●第1回葛飾柴又帝釈天全国書道コンクール
毛筆 柴又帝釈天賞 千葉明美(3B)
硬筆 理事長賞 千葉明美(3B)
●第65回全日本学生書道コンクール
〔読売新聞社等主催〕
推薦賞 千葉明美(3B)
●第11回岩手県高等学校書道作品コンクール
奨励賞 千葉明美(3B)

〔囲碁将棋同好会〕

●第37回文部科学大臣杯全国高等学校囲碁選手権大会
岩手県大会
男子 個人戦 那須亮太(3F) 二回戦敗退
男子 団体戦 那須亮太(3F) 三将 佐藤康平(2B)
副将 千葉博樹(2A)

〔書道〕

●第29回成田山全国読書大会結果
半紙 推薦日輪賞 千葉明美(3B)
半紙・条幅 特選日輪賞 千葉明美(3B)
半紙 特選月輪賞 皆川瑠乃(3D)
半紙 特選月輪賞 岸 栄奈(3B)
秀作金剛賞 書道部 コンクール
●第1回葛飾柴又帝釈天全国書道コンクール
毛筆 柴又帝釈天賞 千葉明美(3B)
硬筆 理事長賞 千葉明美(3B)
●第65回全日本学生書道コンクール
〔読売新聞社等主催〕
推薦賞 千葉明美(3B)
●第11回岩手県高等学校書道作品コンクール
奨励賞 千葉明美(3B)

〔囲碁将棋同好会〕

●第37回文部科学大臣杯全国高等学校囲碁選手権大会
岩手県大会
男子 個人戦 那須亮太(3F) 二回戦敗退
男子 団体戦 那須亮太(3F) 三将 佐藤康平(2B)
副将 千葉博樹(2A)

〔書道〕

●第29回成田山全国読書大会結果
半紙 推薦日輪賞 千葉明美(3B)
半紙・条幅 特選日輪賞 千葉明美(3B)
半紙 特選月輪賞 皆川瑠乃(3D)
半紙 特選月輪賞 岸 栄奈(3B)
秀作金剛賞 書道部 コンクール
●第1回葛飾柴又帝釈天全国書道コンクール
毛筆 柴又帝釈天賞 千葉明美(3B)
硬筆 理事長賞 千葉明美(3B)
●第65回全日本学生書道コンクール
〔読売新聞社等主催〕
推薦賞 千葉明美(3B)
●第11回岩手県高等学校書道作品コンクール
奨励賞 千葉明美(3B)

〔囲碁将棋同好会〕

●第37回文部科学大臣杯全国高等学校囲碁選手権大会
岩手県大会
男子 個人戦 那須亮太(3F) 二回戦敗退
男子 団体戦 那須亮太(3F) 三将 佐藤康平(2B)
副将 千葉博樹(2A)

〔書道〕

●第29回成田山全国読書大会結果
半紙 推薦日輪賞 千葉明美(3B)
半紙・条幅 特選日輪賞 千葉明美(3B)
半紙 特選月輪賞 皆川瑠乃(3D)
半紙 特選月輪賞 岸 栄奈(3B)
秀作金剛賞 書道部 コンクール
●第1回葛飾柴又帝釈天全国書道コンクール
毛筆 柴又帝釈天賞 千葉明美(3B)
硬筆 理事長賞 千葉明美(3B)
●第65回全日本学生書道コンクール
〔読売新聞社等主催〕
推薦賞 千葉明美(3B)
●第11回岩手県高等学校書道作品コンクール
奨励賞 千葉明美(3B)

〔囲碁将棋同好会〕

●第37回文部科学大臣杯全国高等学校囲碁選手権大会
岩手県大会
男子 個人戦 那須亮太(3F) 二回戦敗退
男子 団体戦 那須亮太(3F) 三将 佐藤康平(2B)
副将 千葉博樹(2A)

〔書道〕

●第29回成田山全国読書大会結果
半紙 推薦日輪賞 千葉明美(3B)
半紙・条幅 特選日輪賞 千葉明美(3B)
半紙 特選月輪賞 皆川瑠乃(3D)
半紙 特選月輪賞 岸 栄奈(3B)
秀作金剛賞 書道部 コンクール
●第1回葛飾柴又帝釈天全国書道コンクール
毛筆 柴又帝釈天賞 千葉明美(3B)
硬筆 理事長賞 千葉明美(3B)
●第65回全日本学生書道コンクール
〔読売新聞社等主催〕
推薦賞 千葉明美(3B)
●第11回岩手県高等学校書道作品コンクール
奨励賞 千葉明美(3B)

新任職員紹介

①職名・お名前
②前任校 ③教科
④ひと言



①校長 入駒 智
②大野高校 ③英語 ④県南の伝統校において、生徒一人ひとりを大切にする教育が実践できるように、努力していきます。よろしく願います。



①副校長 畠山 一弘
②盛岡農業高校 ③農業 ④県南の伝統校に赴任し、責任の大きさを実感しています。生徒は地域の宝です。地域の皆様の御協力を頂きながら、地域の活力になるような生徒を育てたいと考えております。よろしく願います。



①教諭 菅野 直樹
②岩谷堂高校 ③農業 ④歴史と伝統が息づいている千厩高校に赴任することができとてもうれしく思っています。学校の中だけにとどまることなく、地域の文化や歴史、自然も学びたいと思っています。よろしく願います。



①教諭 小川 賢作
②金ヶ崎高校 ③地歴公民 ④二度目の勤務になります。よろしく願います。



①教諭 高橋 浩良
②北上翔南高校 ③地歴公民 ④前任校と同様、千厩高校も多様な進路希望の生徒がいます。一人一人の進路希望が実現できるようサポートしたいと思えます。



①教諭 中山 健
②花巻北高校 ③理科 ④震災時には(陸前高田の親族が)千厩地域の方々から多くの支援を頂き、ありがとうございました。四年ぶりの県南勤務になります。保護者の方々の期待に応えるように、自身も成長しながら生徒と接して行きたいと思えます。よろしく願います。



①教諭 菊池 康弘
②花北青雲高校 ③地歴公民 ④初心に帰って頑張ります。よろしく願います。



①教諭 軍司 祐子
②花北青雲高校 ③家庭 ④新たな気持ちで頑張ります。どうぞよろしく願います。



①教諭 小井田 芳雄
②盛岡第一高校 ③国語 ④保護者の皆様のご期待にそえるよう、生徒達の進路実現にむけてがんばってゆきたいです。生徒達が将来社会で活躍できるような基本能力を身につけさせたいと考えております。どうぞよろしく願います。



①教諭 佐藤 千香
②岩谷堂高校 ③芸術(書道) ④県南地区の高校勤務は初めてですが、やりがいのある毎日を過ごしています。よろしく願います。



①教諭 熊谷 篤
②盛岡南高校 ③理科 ④新しいことに挑戦することが大好きなので、自分自身資格取得したり、新しいことに挑戦する生徒を全力でサポートしていきたいと思えます。まずは新環境に慣れて早く千厩



高校の一員になれるように頑張ります。
①教諭 八重樫 剛
②花巻農業高校 ③農業 ④地域の方々、先輩方よりご指導いただき頑張っていきたいと思えますのでご協力よろしく願います。



①講師 阿部 泰明
②産業技術短期大学 ③体育(欠員補充) ④高等学校での勤務は初めてとなりますが、学校生活、教科、部活動と精一杯指導してまいります。よろしく願います。



①講師 渡辺 卓也
②新規 ③工業(欠員補充) ④今年の春から千厩高校に赴任しました。まだ至らないところがあると思えますので、ご助言、ご指導をいただき頑張りたいと思えます。



①講師 平良木 香織
②一関第二高校 ③国語(産休補充) ④千厩高校の明るく素直な生徒たちに出会えたことに感謝します。有意義な高校生活となるように授業や清掃指導など、毎日こつこつ頑張りたいと思えます。



①実習教諭 瀬川 忠信
②一関第二高校 ③農業 ④農業の魅力の一つでも多く生徒に教えていけるよう、笑顔で頑張りたいと思えます。よろしく願います。



①主任 千葉 哲也
②大槌高校 ③事務職員 ④主に生産技術科と産業技術関連の業務を受け持ちます。お子さん方が充実した高

校生活を送るため、より良い環境を作っていくような日々がんばります。



①主事 鈴木 野乃香
②新採用 ③事務 ④千厩高校が初めての職場です。学校生活をサポートできるよう、精一杯がんばります。よろしく願います。



①非常勤講師 菅原 睦
②新規 ③芸術(美術) ④初めての高校勤務になるのでとても緊張しています。美術を通じ、物事を深く多角的に捉える視点と豊かな感性が身に着くような授業を目指しています。どうぞよろしく願います。



①非常勤職員 熊谷 直美
②岩泉町小川中学校 ③岩手かがやきプラン支援職員(いわて特別支援教育かがやきプラン推進事業非常勤職員) ④三月末に岩泉町から転居してきました。千厩高校には五月八日からお世話になっております。今までは小規模の中学校だったので、千厩高校生のパワーに圧倒されています。支援職員という立場から、様々なお手伝いをさせていただきます。高校生からパワーをもらって頑張ります！

編集後記

▼蒼天の空に初夏の風が通り抜けます。風のように時間が忙しく過ぎていく中、毎日を大切に過ごしているのでしょうか。この春、多くの新入生を迎え、平成二十五年度がスタートしました。新しい友だちと出会い、一緒に笑い、共に頑張る。今は分らないけど、これからの人生の中で高校三年間を振り返った時、今しかできない貴重な経験や感動がここにあったことに気がつくと思えます。

▼皆様方から協力をいただき、PTA会報第百二十四号を無事発行することが出来ました。この紙面に収められた情報がお少しでも子どもたちや子どもたちを支える会員の皆様方のお役に立つことを心から願っております。

表紙写真 写真部 佐藤可奈子